

11月21日(月)藤原みちよさんが
青年海外協力隊としてカンボジアへ

青年海外協力隊としてカンボジアへ派遣される藤原みちよさん(右)



青年海外協力隊員としてカンボジアに派遣されることになった菊池市隈府(北原)出身の藤原みちよさんが、派遣前に市長を表敬訪問しました。

福村市長から「現地の治安は心配ないでしょうが、体には十分気をつけて精一杯頑張ってください」と激励を受けた藤原さんは、「若いときにチャレンジしたいと思って志望しました。身に付けた技術を活かして貢献できるように頑張ります」と抱負を述べました。

藤原さんは11月28日にカンボジアへ出発し、現地では2年間、製図・縫製の指導を行うこととなります。

藤原さんの活躍が期待されます。

11月22日(火)「夫婦の手紙・絵手紙コンクール」表彰式

きくち・ワイフ物語推進協議会(会長・福村市長)が募集した「夫婦の手紙・絵手紙コンクール」の入賞者が決まり、その表彰式が「いい夫婦の日」の11月22日に、菊池市内のホテルでありました。

菊池市は、地名の「隈府(ワイフ)」と英語の「wife(ワイフ・妻)」との語呂合わせ、さらに「美肌の湯・化粧の湯」とも呼ばれ女性に人気がある菊池温泉をアピールしながら「おしどり夫婦の里」、「妻(女性)を大切にすまち」としてのイメージづくりに取り組んでいます。

今回のコンクールは、その一環として同協議会が今年から始めたもので、県内はもとより遠くは北海道から、手紙の部に68点、絵手紙の部に496点の応募がありました。

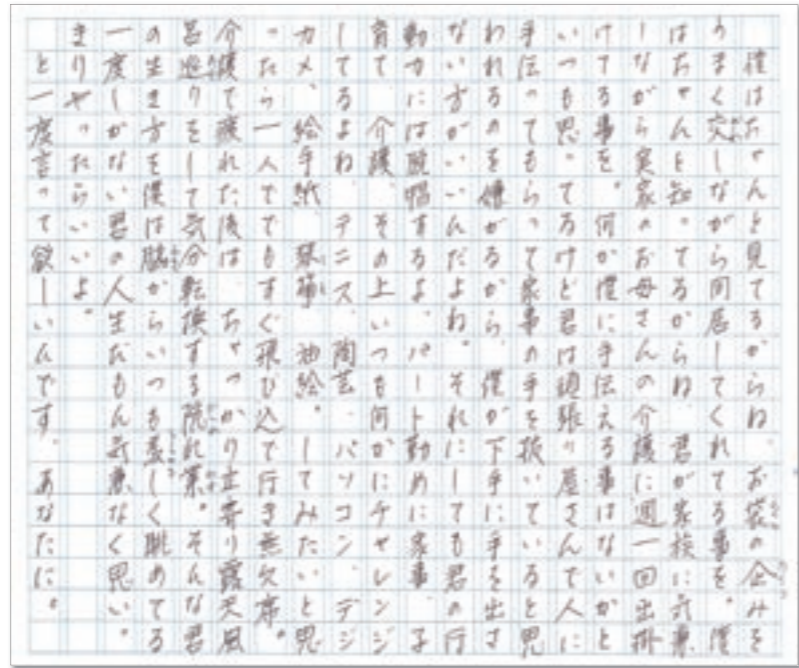


白木千代美さん(左)

表彰式では、夫婦の手紙大賞の白木千代美さんほか32人の入賞者に賞状と副賞が贈られ、受賞者を代表して、白木さんが作品を朗読すると、最終行の「どんでん返し」に会場からは大きな拍手が湧き上がりました。

手紙の部の入賞作品と、絵手紙(応募作品全部)は、菊池夢美術館でご覧いただけます。

◆展示期間 平成18年1月14日(土)～1月29日(日)



夫婦の手紙大賞に選ばれた白木千代美さんの作品「主人に」

11月22日(火)
菊池聖母幼稚園の園児たちが
市長に花びんをプレゼント

11月23日の「勤労感謝の日」を前に、菊池聖母幼稚園の代表園児たち5人と先生2人が市役所を訪れ、福村市長に手作りの花びんをプレゼントしました。

この花びんは、日ごろの勤労に感謝する気持ちを込めて、同幼稚園の園児たちが10月下旬から作ったもので、訪れた園児たちが「いつもお仕事お疲れさまです。私たちの作った花びんです」と福村市長に手渡しました。

福村市長は「ありがとうございます。きれいな花を生けさせてもらいます」と大事そうに受け取りました。

この活動は、毎年この時期に合わせて同幼稚園が行っているもので、菊池市役所の各機関や菊池警察署、北消防署、菊池郵便局など20数カ所に届けられました。



手作りの花びんを届けた代表の園児たち

11月11日(金)
第5回全国障害者スポーツ大会
「輝いて!おかやま大会」での活躍を報告

11月5日(土)～7日(月)に全国障害者スポーツ大会が、岡山県桃太郎スタジアムであり、菊池市から3人の選手が出場しました。

3人は、それぞれの部門で日頃の練習の成果を発揮し、その報告に福村市長を訪れました。今後の3人の活躍が期待されます。結果は、次のとおりです。

- 黒田 章選手 ・ 1500m 車椅子 優勝
- ・ 5000m 車椅子 優勝(大会新記録)
- 矢ヶ部孝志選手 ・ 1500m 車椅子 5位入賞
- ・ 5000m 車椅子 6位入賞(大会記録)
- 西岡 成也選手 ・ フライングディスク 4位入賞



黒田 章選手(一番右)、西岡成也選手(右から2番目)、矢ヶ部孝志選手(一番左)

11月17日(木)
道の駅泗水養生市場開店4周年記念
大感謝祭(140万人突破!)

開店4周年を迎えた「道の駅泗水養生市場」の来客数が140万人を突破しました。

140万人目となったのは、同店によく買い物に来るといふ杉本明子さん(富の原東)で、杉本さんは「週4日は養生市場に買い物に来ています。おいしいお弁当や、新鮮な野菜などいい商品があるので、よく利用しています。140万人目に選ばれるなんて、びっくりしました」と話されました。

杉本さんには、福村市長から花束と養生米などたくさんのお礼品が贈呈されました。



来客140万人目となった杉本明子さん(右)

11月14日(月)
岩永生男さんが第15回
鹿北茶山唄全国大会での優勝を報告

鹿北茶山唄全国大会で優勝した岩永生男さん(中央)



岩永生男さん(花房台)が、10月30日(日)に山鹿市鹿北町であった鹿北茶山唄全国大会で優勝し、その報告に市長を訪れました。

大会で岩永さんが歌ったのは10月に完成したばかりの「菊池川今昔」という民謡で、菊池を代表する歌になればと知人の作曲家に歌のイメージを伝えて作ってもらったものです。

カラオケが趣味だったという岩永さんが民謡を始めたのは10年前で、あるとき喉にポリープができ、手術後のリハビリにと始めたのがきっかけです。

岩永さんは「この歌をきっかけに『まちおこし』をしたいです。鹿北茶山唄大会の菊池版ができればいいと思います。祭りなどへの出演依頼があればいつでも行って歌いますよ」と話されました。

11月17日(木)
菊池北小学校が「2005年度
第36回博報賞」の受賞を報告

受賞の報告に訪れた倉原久義校長(右)



菊池北小学校が博報賞の教育活性化部門で表彰を受け、その報告に市長を訪れました。この賞の受賞は菊池郡市では初めてのことで、6年生が総合的な学習の時間で、地域に伝承されている狂言に取り組んだり、4～6年生の希望者が雅楽に取り組んだりしている活動が子どもたちに根付き、郷土に対する誇りと自信の気持ちが育っていることなどが評価されました。

倉原校長は「子どもたちには、文教菊池の地に伝わる伝統的な文化を学んでもらうことで『菊池に生まれて良かった』と思うような菊池を自慢できる大人になってほしいです」と話されました。

今後の菊池北小学校の活躍が、期待されます。